

平成29年度社会福祉法人明星会 事業計画（案）

1 法人の基本方針

社会福祉法人明星会は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、支援することを目的として、社会福祉事業を行います。

いま社会福祉法人に求められていることは、「地域における公益的な活動の推進」「法人組織の体制強化」「法人運営の透明性の確保」であり、利用者及び地域住民等から信任を得続けるため必ず実施していく必要があると考えています。

（法人組織）

理事 6名 評議員 7名 監事 2名

（会 議）

理事会・評議員会 年 2回以上

事業計画、予算・決算、運営などの重要事項について協議、決定。

2 法人の運営する事業所の概要

（1）明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2250番地

サービスの種類	生活介護サービス	定員 40名	現員 41名
	施設入所支援サービス	定員 40名	現員 41名
	短期入所サービス（併設型）	定員 4名	現員 0名
建物（延べ床面積）	： 1, 842㎡	敷地面積	： 6, 015㎡

（2）第二明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2191番地1

サービスの種類	生活介護サービス	定員 60名	現員 65名 (内8名通所)
	施設入所支援サービス	定員 60名	現員 57名
	短期入所サービス（空床型）	定員 1名	現員 0名
建物（延べ床面積）	： 3, 175㎡	敷地面積	： 7, 156㎡

(3) 明星保育園 保育所 飯田市鼎切石3928

サービスの種類	保育所	定員 120 名	現員 125 名
	未満児保育	定員 1 名	現員 33 名
	延長保育	定員 1 名	現員 58 名
	一時預かり事業	定員 1 名	現員 0 名
建物（延べ床面積）：	1, 105㎡	敷地面積	： 2, 680㎡

(4) グループホーム（有誠寮、有明寮、北方のぞみハイツ）

サービスの種類	：	共同生活援助	3 棟
		（有誠寮）	定員 4 名 現員 4 名
		（有明寮）	定員 3 名 現員 2 名
		（北方のぞみハイツ）	定員 4 名 現員 4 名
・有誠寮（北方）	飯田市北方2139番地5	床面積	90.6㎡
・有明寮（高羽）	飯田市高羽町2丁目5番地1	床面積	105.5㎡
・北方のぞみハイツ	飯田市北方68番地7	床面積	183.2㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類	：	特定相談支援事業所	
		明星学園一番星 契約利用者 60 名	
		第二明星学園一番星 契約利用者 50 名	
所在地は（建物、敷地）	明星学園及び第二明星学園内		

3 事業者毎の事業計画

(1) 明星学園・第二明星学園

ア 運営方針

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行っていきます。

また、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共生社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。

家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上をめざしてまいります。

イ 事業の概要

①施設入所支援

- 「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供に努めます。
- 「自己選択」を尊重した意思決定支援に努めます。
- 利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援を実施します。
- 利用者の旅行は、利用者の希望に沿って実施します。
- カラオケなど従前から行っている余暇活動に加え、地域行事なども視野に入れ新たな余暇活動の場を検討し支援していきます。
- 家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えていますが、家族会役員等と十分連絡調整しながら家族会活動が継続、発展するよう協力します。
- 利用者にとって高齢になっても家庭や故郷は心の拠り所です。支援職員を中心に、家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭通信を行い、利用者の近況や想いを伝えます。
- 利用者の個別支援計画等の説明をはじめ不安や要望等について話し合いを行うため、家庭との懇談会を年3回開催します。また、利用者の預り金の確認も同時に実施します。

②生活介護

- 利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿った質の高いサービス提供を行います。
- 利用者に季節感のあるサービスとしてお花見、明星きらめき祭、餅つき大会、どんど焼き等の季節行事を実施します。
- 26年度より日中活動の充実を図るべく、言語聴覚士（ST）巡回指導、理学療法士（PT）巡回指導、アート活動、運動療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、ウイークエンドシアターなどのサービス提供を始めましたが、本年度も更なる充実を目指していきます。
また、日中活動の選択肢が広がるようにアイデアを出しながら更に検討していきます。
- 利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物等の機会も継続して実施します。

③短期入所事業

- 短期入所事業は、特に緊急性の高いケースについて優先的に受け入れます。
常に部屋の空き状態を確保しながら、地域の「困った」に可能な限り対応できるように努めていきます。

④人材育成事業

ア 人材の確保

人材の確保が困難な時代ですが、募集方法や活動を工夫していきたい。

ホームページ等を利用した広報活動、各地域で開催される就職説明会を積極的に利用し「人材の確保」を最大の重点課題として取り組みます。

イ 人材の育成

○明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等研修の機会を積極的に活用するとともに、外部研修にも積極的に参加し職員の資質向上と支援力強化を図ります。

○内部研修として、月に1度 理学療法士（外部講師）及び言語聴覚士（外部講師）巡回指導を実施し、理学療法士については利用者の運動機能の回復、褥瘡の予防などの指導を行ってまいります。また、言語聴覚士については、嚥下、咀嚼能力に低下がみられる利用者に対し、きざみ食や食事の時の姿勢などについて指導を行ってまいります。課題を抱えている利用者に対し実際に指導して頂けることで職員も十分に理解でき支援技術を身に付けてまいります。

○さらに、毎月課題を決めてレポートを提出してもらうことで、意識・知識の向上及び自己啓発に努めることを目指します。

○一般常識の研修として外部講師を招き接遇研修を行い、外部の方々に失礼のない対応がとれることを目指します。

○研修計画を充実させ、効率的な業務遂行と職員個々の業務に対する自覚や責任感の醸成及び意欲喚起を図るとともに、効率的な業務遂行を進めます。

○地域の新聞、広報を活用し、明星学園が行っている「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等を福祉関係者等に周知し、地域ともに研修を図りたい。

ウ メンタルヘルスケアの推進

○メンタルチェック

効率的な業務遂行を進めます。

○カウンセリングギフト

研修計画は別紙のとおりです。（33、34ページ）

（ウ）施設・設備整備事業

利用者処遇の向上等のため、施設、設備の整備が必要となってきています。

○居室の改修（和室から洋室へ）

○環境整備

等

(2) グループホーム

ア 運営方針

「明星学園10年構想」の中に位置づけられた地域社会で「主体的に生きること」を目指していましたが、27年度に新たなグループホーム「北方のぞみハイツ」を開所することができました。

有誠寮（北方寮）、有明寮（高羽寮）、北方のぞみハイツの3カ所のホームの利用者個々のニーズに即したサービス提供を行います。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指します。

さらに、利用者の高齢化など諸々の課題に関しては、これまでどおり本体施設と連携していくほか、グループホーム会議等で積極的な提案をしながらこれまで以上に連携強化に努めていきます。

イ 事業の概要

①共同生活援助事業

- 前年度同様に生活支援員、世話人の協力により、余暇活動支援を行います。
毎月、利用者仲間とボーリング・ドライブ等の外出の機会を設けます。また、焼き肉、鍋などを囲んで自由に話して楽しく過ごせる時間を提供します。
- 飯伊圏域の他のグループホームと連携を図り交流会等に積極的に参加します。
- 家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えていますが、家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭通信を行い、家族とのつながりが保てるように努めます。
- 地域との「つながり」を大切に可能な範囲で参加が図れるように支援します。

②人材育成事業

- 生活支援員及び世話人の資質の向上を図るため施設で行う内部研修の機会を設け、利用者の支援の向上を目指します。
- 世話人研修等へ積極的に参加し、資質向上に努めます。
- 世話人より日常的に寄せられる相談に対し、悩みを共有したり、フォロー等を行ない、長期的に従事できる体制を目指します。

③施設整備事業

現在3箇所のグループホームがありますが、その内2箇所は借家であり建築後40数年経過しております。
そのため本年度は新たなグループホームを設置し、地域社会の中でより良い環境のもと生活できるよう整備したい。定員は6名を考えている。

(3) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

ア 運営方針

次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を行います。

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めます。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切に行います。
- ③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努めます。
- ④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めます。

イ 事業の概要

- ①基本相談支援（障がい者及びその家族等からの相談）
- ②計画相談支援（サービス利用支援・継続サービス利用支援）
本年度は、明星学園、第二明星学園、グループホーム合わせて110名程度のモニタリングを中心に行います。
- ③人材育成事業
南信州地域自立支援協議会主催の研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。

※明星学園、第二明星学園及びグループホームの主な事業の年間計画は別紙のとおりです。（35ページ）

(4) 明星保育園

ア 運営方針

乳幼児期にとっての最善の利益を考慮し、生命を守る保健衛生に留意し、保育環境の整備や保育士の専門性を高める努力を行い、力の基礎を育成することを念頭に置く。

開かれた保育園作りとし、地域に対する保育相談能力の開発に努めるため、研修会には積極的に参加する。

<保育目標>

- ◇ 健康でいきいきした子ども
- ◇ 情緒の豊かな子ども
- ◇ 仲良く遊べる子ども
- ◇ ひとり立ちのできる子ども
- ◇ 意欲的に取り組む子ども
- ◇ 言葉を豊かに正しく使える子ども
- ◇ よく見つめ考える子ども
- ◇ 想像する子ども
- ◇ がまん強い子ども

イ 事業の概要

①保育事業

「保育所哺育指針第 13 章 保育所における子育て支援」に基づき、保育所の通常業務である保育の充実に加え、地域における子育て支援の役割を総合的かつ積極的に担います。

A 保育所入所利用者への支援

- ・家庭養育を補完する

- 1 子どもの健やかな育成を目指し、養護と教育の一体化を行います。
- 2 保護者の就労を支援し、協力関係を築きます。

ア産休明け保育

イ早朝、延長保育

ウ病後児保育

エ障がい児保育（発達障がいへの対応及び配慮）

- 3 個別支援計画を作成するとともに、定期的に見直して一人ひとりに適した保育を実施します。
- 4 チームによる保育体制により保育内容の充実を図ります。

B 地域の子育て支援

- ・地域の子育て家庭を支える

- 1 地域住民への相談・助言等、地域の子育て支援を行います。

ア一時預かり保育

イ未就園児交流事業

ウ乳幼児の保育に関する相談・援助事業

C 住民や機関との連携

・実習・ボランティアの受け入れと対応

- 1 ボランティアの受入については、「明星保育園ボランティア受入マニュアル」に基づいて積極的に受け入れます。
- 2 保育士の人材育成への協力等を目的に「明星保育園実習生受入マニュアル」に基づき、実習生を受け入れます。

D 関係機関との連携

円滑な保育運営や利用者の支援に当たり、個別支援計画に基づき、市町村、児童相談所、学校、医療機関、療育機関などの関係機関とケア会議等を開催し、園児及び保護者一人ひとりを支えるネットワークを構築します。特に、飯田市子どもセンターひまわりとは連携を密にして統一的支援に努めます。

E 見学者の受け入れと対応

- 1 入所希望者の見学の受け入れ
- 2 関係機関からの見学希望者の受け入れ

F 家族との連携

保護者懇談及び家庭訪問を実施するとともに、子ども一人ひとりの保育園での生活や成長の様子等をお知らせする「クラス便り」を年10回発行し、家族と多面的な協力関係を築きます。また、各種行事への招待、職員と協働で行う環境整備等を通じて良好な関係を維持していきます。

G 小学校入学へのスムーズな移行

個別支援計画に沿って、関係機関と連携して、小学校入学に向けた途切れない支援を積極的に進めます。

H 明星保育園の主な事業の年間計画は別紙のとおりです。(36ページ)

②人材育成事業

職員は、日本保育園連盟研修計画、長野県保育園連盟保育関係研修計画、全国保育協議会研修計画・全国保育士会研修計画、日本保育士会研修計画等に基づく保育所研修へ積極的に参加するとともに、保育所においても園内研修計画を策定・実施し、職員の資質向上に努めます。

- A 新規採用職員を中心に保育所の沿革及びその役割について理解を深めます。
- B 職員には、自園のマニュアル、長野県保育園連盟保育部会・管理部会・給食委員会作成の冊子及び、日本経営研究所によるDVDを活用しながら保育所職員としての立場、職業人としての基本的なマナー等を身に付けるよう指導します。
- C 保育所関係の各種研修を中心に研修の機会を積極的に活用し、高まる保育

ニーズと求められるサービスの充実という流れの中で、利用者の多様なニーズを受け止めサービス提供体制の確立、職員の人権意識の高揚、経営に対する理解を深めるよう努めます。

- D 可能な限り、外部の保育関係機関が開催する有益な専門研修等に職員を派遣し、知識及び保育技術の向上に活かします。

4 事業所毎の職員体制

明星学園		第二明星学園	
園長	1名	園長	1名（兼務）
次長	1名	次長	1名（兼務）
事務長	1名	事務長	1名（兼務）
主任	2名	主任	2名
生活支援員	18名	生活支援員	22名
支援員（パート）	6名	支援員（パート）	9名
事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名（兼務）	栄養士	1名
パート	5名	パート	6名
計	37名	計	45名

グループホーム

管理者	1名（兼務）
次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）
主任	1名（兼務）
事務員	1名（兼務）
世話人	3名
パート	2名
計	10名

特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名

相談支援専門員	4名	相談支援専門員	5名
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	9名	計	10名

明星保育園

園長	1名
副園長兼主任	1名
副主任	1名
保育士	12名
事務員	1名
栄養士	1名
調理師	1名
パート	4名
計	22名

参 考 資 料

○明星学園・第二明星学園・グループホーム 利用者の状況

①支援区分別 明星学園 第二明星学園

支援区分	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分6	19名	19名	21名	20名
区分5	17名	17名	22名	20名
区分4	4名	4名	15名	15名
区分3	1名	1名	5名	2名
区分2	0名	0名	2名	0名
合計	41名	41名	65名	57名

②出身地の状況

当圏域（飯田市、下伊那郡）	18名	37名
長野県内の市町村	23名	28名

○グループホーム

①支援区分別

支援区分	共同生活援助
区分5	1名
区分4	2名
区分3	2名
区分2	5名
合計	10名

②出身地の状況

当圏域（飯田市、下伊那郡）	8名
長野県内の市町村	1名
長野県外の市町村	1名

○明星保育園 利用者の状況

クラス	人数	県地区	上郷地区	松尾地区	伊賀良	その他
にじ組	28名	21	2	0	1	4
つき組	29名	20	0	1	6	2
ほし組	27名	19	0	0	4	4
つくし組	18名	14	0	0	3	1
つぼみ組0	6名	2	0	0	3	1
つぼみ組1	17名	14	0	0	2	1
計	125名	90	2	1	19	13